

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 78 2012年4月

発行：日本信頼性学会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11 一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9844
WWWホームページ <http://www.reak.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）



日本信頼性学会



第 34 回年次総会および第 20 回春季信頼性シンポジウム 開催案内

第 34 回年次総会、特別講演、春季信頼性シンポジウムおよび情報交換会を下記の通り開催いたしますので、ご都合お差し繰りのうえご出席ください。

なお、諸準備の都合上、5月号学会誌に同封いたします返信葉書にて、ご出席の有無を6月4日までにご連絡くださいますようお願い申し上げます。「正会員」の方で総会に欠席される場合は、必ず委任状に記名捺印の上、ご投函ください。

記

日 時： 2012年6月11日（月）
10:30～19:30（終了時刻は予定）

会 場： 一般財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 3号館2階講堂 他
（東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11）

プログラム：

- (1) 年次総会 10:30～12:00 1号館3階講堂
 - (2) 特別講演 13:00～14:30 1号館3階講堂
「ディペンダブルコンピューティング技術の最新の動向（仮）」南谷 崇氏
 - (3) 第20回春季信頼性シンポジウム 14:40～ 1号館3階講堂, 1号館2階B室
 - (4) 情報交換会（シンポジウム終了後）1号館2階A室
- なお、シンポジウムプログラムは学会ホームページ（<http://www.reak.jp/>）にも掲載いたします。
（4月25日頃予定）

参加費

シンポジウム参加費：正会員・賛助会員 2,000円、学生会員（学生）1,000円、非会員 3,500円
情報交換会参加費：2,000円
●参加費は、当日会場（受付）にてお支払いください。

【連絡先】 日本信頼性学会 事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟 内
TEL03-5378-9853 FAX03-5378-9844 E-mail：reak@juse.or.jp



日本信頼性学会 IECディペンダビリティ規格研究会

信頼性、保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

(日 時) 2012年4月24日(火) 18:30~21:00

(場 所) 一般財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分、地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分、都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ、保全性プログラムの適用の手引き、IEC 60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い、適用上の問題点を明確にし、最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格、60300-3-11: Reliability centered maintenance, 60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審議及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は、これらの規格を正確に理解し、わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い、会員に周知したいと考えています。新しい会員、特に、若手会員の参加を歓迎します。

(連絡先) 主 査 山内 慎二 (自宅) Tel/Fax 03-3948-7364

副主査 黒田 豊 (自宅) Tel/Fax 042-563-1501

日本信頼性学会 LCC (Life Cycle Costing) 研究会

国際規格 IEC 60300-3-3: Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004) の英語版を教材として用い、輪読式に翻訳と内容検討、技術的関連事項の調査研究、適用事例収集を行いつつ、メンバー相互の研鑽に励んでおります。

原則として月一回の例会と春秋の発表会への参画、情報収集等 LCC ロードマップに沿った活動を行

っております。新規参画歓迎。

(日 時) 2012年4月27日(金) 18:00~20:00

2012年5月25日(金) 18:00~20:00

(場 所) ●4月27日 一般財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 会議室
(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分, 地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分,
都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

●5月25日 一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル 会議室
(東京メトロ丸の内線東高円寺駅から徒歩5分, 青梅街道沿い)

(資 料) IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004)

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com
同 副主査 夏目 武 natsumetom@ybb.ne.jp
古野 紀雄 n-furuno@ct.jp.nec.com

日本信頼性学会 故障物性研究会4月例会 (第101回)

(日 時) 2012年4月27日(金) 13:00~17:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル 1号館2階B室

(東高円寺ビルではありません。お間違えのないようお願いいたします。)

〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11

※ 千駄ヶ谷ビル地図 http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

(議 題)

- 1) 幹事会からの連絡事項 (13:00-13:15)
 - ・新入会員の紹介, オブザーバの紹介
 - ・故障物性研究会100回記念記事(随想)の紹介
 - ・2012年度体制の紹介(幹事会メンバー他)
 - ・第42回信頼性・保全性シンポジウム(7月12日, 13日)
- 2) 特別講演: (13:15-14:15)
「発熱解析技術と高分解能X線CTの組み合わせによる完全非破壊故障解析」
丸文(株) 清宮 直樹氏
- 3) プレゼンテーション (14:15-15:00)
「プリント基板・はんだ接続部の故障・安全問題と故障メカニズムーその2ー」
井原 惇行氏
- 4) ディスカッション (15:15-16:45)
「協力関係で築くセットメーカーの信頼性」 (全員)
①協力体制構築に関する提案 味岡 恒夫氏
②ディスカッション (全員)
- 5) 今後の予定 (16:45-17:00)
 - ・第102回例会の開催案内(案)
 - ・2012年度活動計画の基本的考え方・進め方etc.

(連絡先) 日本信頼性学会 事務局 reaj@juse.or.jp
故障物性研究会 主査 土屋英晴 hideharu-tuchiya@anden.co.jp
副主査 太田周一 shiyuuichi.so.ohta@nts.ricoh.co.jp

日本信頼性学会関西支部2011年度第3回講演会

次の通り日本信頼性学会関西支部の講演会を開催します。会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

(日 時) 2012年5月18日(金) 14:00～17:00

(会 場) 中央電気倶楽部 2階 214号室

(所在地) 大阪市北区堂島浜2-1-25

(講演者) 日本信頼性学会・故障物性研究会 高森 圭 氏

(沖エンジニアリング株式会社信頼性技術事業部故障解析グループ長)

(題 目) 「良品解析に基づく故障の予兆把握と未然防止」

(内 容) より安全性の高い製品が求められる中で、故障が発生しにくい製品開発や、市場の故障問題を事前に発見し、未然に故障問題を防ぐ信頼性技術に対しても一層期待が高まっています。

このような状況の中で、日本信頼性学会・故障物性研究会から、研究活動成果をまとめた「電子機器技術者のための新しい信頼性技術と管理手法」(日刊工業新聞社,2011.7)が出版されました。電子部品を対象として、比較的最近の故障問題にも触れながら、故障の原因が製品に内在する理由を、製造工程の情報も交えて詳しく解説され、電子部品メーカと電子機器メーカが共同で市場品質の維持改善を実践する上で、とても役立つ内容です。

そこで、この書籍の執筆にも関わっておられ、電子部品の故障解析に長く携わりながら、電子部品の市場品質の改善にも成果を示して来られました講師に、関西へ足を運んでいただくことをお願いしました。市場に電子部品が出荷されるまでの段階において、効率よくその信頼性を評価し、故障の芽となる要因をつぶし込み、如何にして市場の故障問題を未然に防止すればよいかについて、詳しく解説していただきます。

(参加費) 会員および学生：無料、 非会員：2,000 円

(問い合わせ先) 日本信頼性学会関西支部 事務局 [植村]

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25 中央電気倶楽部4階

(財) 日本科学技術連盟 大阪事務所 内

TEL 06-6341-4627 FAX 06-6341-4615 / E-mail: reaj-kansai@juse.or.jp

(申込方法) 日本信頼性学会のホームページ (<http://www.reaj.jp/>) からご予約ください。

*不明な点があれば、上記問い合わせ先に連絡してください。

(申込締切) 2012年5月16日(水)

安全工学シンポジウム 2012 ーリスクへの対応と安全・安心ー

(主 催) 日本学術会議 (総合工学委員会)

(共 催) 日本信頼性学会 他 34 学協会

(開催日) 2012年7月5日(木)～6日

(会 場) 日本学術会議 (港区六本木 7-22-34) 地下鉄乃木坂駅下車すぐ

(開催趣旨) 日本学術会議主催「安全工学シンポジウム 2012」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演はじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等 176 件の安全に関わる研究発表と討論を行います。皆さまの多数のご参加をお待

ちしております。

(参加登録費) 無料, 講演予稿集は当日会場で実費頒布いたします。

1部 5,000円, ただし学生は1部 2,000円

(申込) 事前申込は不要です。当日直接ご来場ください。

(連絡先) 安全工学シンポジウム j 2012 (幹事学会) 公益社団法人日本化学会 美園康宏

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

TEL 03-3292-6163 FAX 03-3292-6318 E-mail : anzen2012@chemistry.or.jp

詳細は, <http://www.csj.jp/es/anzen2012/> をご参照ください。(プログラムは5月上旬公開予定)

ソフトウェア品質シンポジウム 2012 (SQiP2012) 一般発表募集

本シンポジウムはソフトウェア品質に関わる国内最大級のシンポジウムで, ソフトウェア品質に関わる全ての方々を対象としております。

年に一度のこの機会を皆さまの研究, スキルの向上の場としてご活用いただければ幸いです。

(日時) 2012年9月12日(水)~14日(金)

(会場) 東洋大学 白山キャンパス(東京都文京区) (予定)

(主催) 一般財団法人日本科学技術連盟

(後援) 文部科学省, 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

(協賛) 日本信頼性学会 他

(参加費) 発表者: 5,250円 (2012年9月13日~14日への参加費, 12日の併設チュートリアル(半日集中講座)は別料金。)

(スケジュール) (予定)

5月8日(火) 投稿締切

6月8日(金) 採否通知

7月9日(月) 経験論文(フルペーパー) 投稿締切

7月31日(火) 経験論文レビューコメント通知

8月20日(月) カメラレディ原稿提出締切

9月12日(水)~14日(金) シンポジウム開催

(連絡先) 一般財団法人日本科学技術連盟 教育推進部第二課

ソフトウェア品質シンポジウム 2012 担当

TEL03-5378-9813 FAX03-5378-9842 E-mail : sqip-sympo@juse.or.jp

詳細は, <http://www.juse.or.jp/software/217/> をご参照ください。

横幹技術フォーラム

(日時) 2012年5月10日(木) 13:00~16:50

(会場) 筑波大学 東京キャンパス(丸の内線茗荷谷駅出口1)

(主催) 横幹技術協議会, 横幹連合

(参加費) 横幹技術協議会会員企業の関係者, 横幹連合会員学会の正会員, 学生は参加費無料
当日資料代: 1,000円(希望者のみ)

上記以外: 一般 5,000円(資料代込み)

(参加申込) オンラインにて事前登録をお願いします。

http://www.trasti.jp/forum/forum34_kyg.html

(テーマ) 東日本大震災からの復興現場における支援活動

～次世代に向けた日本の街づくりとして我々は何ができるのか～

(企画趣旨) 2011年3月11日に発生した東日本大震災から1年、未だ被災地では様々な復興に向けた活動が続けられている。一方、緊急時を見据えた法制度の不備等により、現地での活動は思うように進まない現実も現れている。また、被災地の多くが地方都市であり、現時点での被災地の課題は、今後の日本における高齢化社会や産業空洞化の問題の縮図となっており、被災地の復興に向けた新たな街づくりは、次世代に向けた日本全体の街づくりと密接な関係があると言える。本技術フォーラムでは、被災現場における復興活動の紹介と共に、活動の障壁となっている課題や、今後の街づくりへの課題を講演いただき、産学官が連携してこれからどのような活動が出来るのかを議論する。

(連絡先) 横断型基幹科学技術推進協議会 (横幹技術協議会)

横幹技術フォーラム 事務局 池田理香

TEL/FAX 03-3814-4130 E-mail : office-kyg@trasti.jp

詳細は、http://www.trasti.jp/forum/forum34_kyg.html をご参照ください。

一般社団法人日本機械学会

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2012 (ROBOMECH2012)

本講演会は、我国のロボティクス・メカトロニクスに関する学術研究を牽引する重要な講演会で、1988年からスタートし2012年で第24回目を迎えます。学術講演はすべてポスター形式で行われ、十分な議論と交流の時間を確保しているのが大きな特徴です。本講演会は、先進的な研究成果の発表の場であると同時に、産学官の意見交換・交流の場を提供する大きな役割を担っています。

(日 時) 2012年5月27日(日)～29日(火)

(会 場) アクトシティ浜松 (浜松市中区中央3-12-1)

(主 催) 一般社団法人日本機械学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(参加費) 《事前登録》正員15,000円、学生員・学生会員8,000円、会員外20,000円、一般学生10,000円

《4月21日以降》正員20,000円、学生員・学生会員13,000円、会員外25,000円、一般学生15,000円

●日本信頼性学会会員の皆さまは、会員価格にてご参加いただけます。

懇親会にご参加の際は、別途、参加費がかかります。

(お問い合わせ) Robomec2012 実行委員会

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学工学部機械工学科 伊藤研究室内

TEL/FAX:053-478-1065 E-mail : robomec2012@arslab.eng.shizuoka.ac.jp

詳細は、<http://www.jsme.or.jp/rmd/robomec2012/index.html> をご参照ください。

一般社団法人プロジェクトマネジメント学会

6th International Conference on Project Management 2012(ProMAC2012)

PM学会では、「ProMAC 2012」の名称で第6回PM国際会議を米国ハワイで開催いたします。最高のロ

ケーションで、新たな国際交流の場をご提供いたします。

PM関連技術は、FMES会員学会の皆様とのフィールドと深く関わっております。皆様が培った知識やノウハウはPMにとって大いに役立つものと考えております。

この機会に国際会議で発表されたことのない方は勿論、他国のエンジニアらと交流したい方、自身の経験を国際会議の場で発表されたい方など国際会議にご興味のある方は是非発表をお勧めいたします。

(日 時) 2012年10月3日(水)～5日(日)

(会 場) Hawaii Convention Center, Hawaii, USA

(主 催) 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(スケジュール) 要旨締切: 5月31日(木)

採否通知: 6月1日(金)

論文締切: 7月20日(金)

(参加費) 学生発表者 50,000円(30才未満の学生), 一般発表者 70,000円

一般参加者 120,000円(参加早割 7月31日まで) 80,000円

家族参加者 20,000円

(問合せ先) ProMAC事務局

論文・発表等に関するお問合せ: promac@spm-hq.jp

詳細は、<http://jp.hawaii-convention.com/> をご参照ください。

公募開始のご案内

JST-CREST「分散協調型エネルギー管理システム構築のための

理論及び基盤技術の創出と融合展開」領域

本研究領域では、エネルギーシステムの最適化という社会が抱える大きな課題の解決に向かって、システム、制御、情報、通信、エネルギー、社会科学など様々な分野の研究者と一体となって立ち向かえるよう、従来のCRESTとは異なるユニークな領域運営を行います。ご関心のある多くの方々の応募を期待しております。

(公募期間) 3月22日(木)～5月15日(火) 正午

(領域概要)

本研究領域では再生可能エネルギーをはじめとした多様なエネルギー源と様々な利用者をつなぐエネルギー管理システムにおいて、エネルギー需給を最適制御するための理論、数理モデル及び基盤技術の創出を目的とします。

具体的には、エネルギーと情報を双方向かつリアルタイムで処理し、分散して存在する需要と供給間の状況把握や協調制御を可能とする理論及び基盤技術の研究を推進します。また、需要と供給それぞれの利己的意思決定をエネルギーシステム全体の社会的利益につなげるために、人間行動や社会的合理性を組み込んだ理論及び基盤技術の研究を推進します。さらには、再生可能エネルギーの需給を気象や地理的条件、過去の実績等を考慮して予測する理論及び基盤技術の研究を推進します。

これらの研究を推進するにあたり、分散協調型エネルギー管理システムの構築という出口を見据え、システム、制御、情報、通信、エネルギー、社会科学など様々な研究分野をつないだ連携や融合に取り

組みます。

(お問い合わせ先) 独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)

研究領域総合運営部 第二研究領域担当 松尾 浩司

E-mail: kmatsuo@jst.go.jp 電話 03-3512-3531 FAX 03-3512-2066

詳細は、(研究提案募集ホームページ) <http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html> をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
IEC ディペンダビリティ規格研究会	日科技連 千駄ヶ谷	2012/4/24		
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2012/4/27		
<u>LCC 研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2012/4/27		
経営情報学会 2012 年春季全国研究発表大会 「イノベーションと経営情報」	東京経済大学 東京都国分寺市	2012/5/12 ～5/13		http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2012_spring/index.html
<u>関西支部 2011 年度第 3 回講演会</u>	中央電気倶楽部 大阪市北区	2012/5/18		
腐食防食部門委員会第 286 回例会・見学会 「新エネルギーの最近の動向と将来展望」	神戸市建設局東水環 境センター東灘処理 場, 神戸市東灘区	2012/5/23		http://www.jsms.jp/
Tenth International Conference on Ordered Statistical Data and Their Applications	University of Murcia, Murcia, Spain	2012/5/23 ~ 5/25	2012/4/16	http://um.symposium.com/event_detail/555/detail/tenth-international-conference-on-ordered-statistical-data-and-their-applications.html
<u>LCC 研究会</u>	日科技連 東高円寺	2012/5/25		
電子情報通信学会 信頼性研究会 (R)	出雲グリーンホテル モーリス, 出雲市駅南町	2012/5/25	2012/3/14	
<u>日本信頼性学会第 34 回年次総会</u> <u>日本信頼性学会第 20 回春季信頼性シンポジウム</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2012/6/11	2012/3/21	http://www.reaj.jp/
電子情報通信学会 信頼性研究会 (R)	機械振興会館 港区芝公園	2012/6/15	2012/4/11	
IEEE Reliability Society Japan Chapter Annual Meeting & 2010 Chapter Awards 受賞記念講演会 & Seminar	首都大学東京秋葉原 サテライトキャンパ ス 秋葉原	2012/6/16		http://www.ieee-jp.org/japancouncil/chapter/R-07/index.html
安全工学シンポジウム 2012	日本学術会議 東京都港区	2012/7/5 ~ 7/6		http://www.csj.jp/es/anzen2012/
18th ISSAT International Conference on Reliability & Quality in Design	Boston, Massachusetts,	2012/7/26 ~	2012/2/15	http://issatconferences.org/

	U.S.A	7/28		
The 10th ANQ Congress 2012 Hong Kong	The Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong, China	2012/7/31 ~ 8/3	2012/2/15	http://www.anq2012.org/index.html
The 5th Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling (APARM 2012)	Nanjing University of Technology, China,Nanjing, China	2012/11/1 ~ 11/3	2012/5/15	http://jgy.njut.edu.cn/aparm/index.htm